

秘書艦
端鳳の

高坂あすか





～前書きと言う名の後書き～

思えば最初に空母レシピを回して出てきたのがこの瑞鳳でした。
それ以来赤城と共にずっと我が機動部隊の主力として活躍して貰ってます。

最初の頃「軽空母ですが、練度が上がれば、正規空母並みの活躍をおみせ出来ます」
って言ってたから「あー、改造で正規空母になるのかー、へー」と勘違いした提督は
僕だけではないはず。
で、でも艦載機の数こそ少ないものの、持ち前の幸運と低燃費で大活躍ダヨ！
そしてなにより格納庫もまさぐり放題だしね！やったぜ！

なので今回は秘書艦として仕事する瑞鳳のまさぐられる日常を淡々と描きました。
今回も最終的に時間が全然なくなっちゃって締め切りぎりぎりでしたけど
楽しんで貰えると幸いです。

では本編どうぞー。

TEL

～奥付～

初出:コミックマーケット85

発行:こーひーめーかー～Coffee Maker～

発行者:TEL

印刷:ねこのしっぽ様

URL:<http://coffeemaker01.blog83.fc2.com/>

mail:sikuhaku_1@hotmail.com

私の作った
たまご焼き食べるっ？





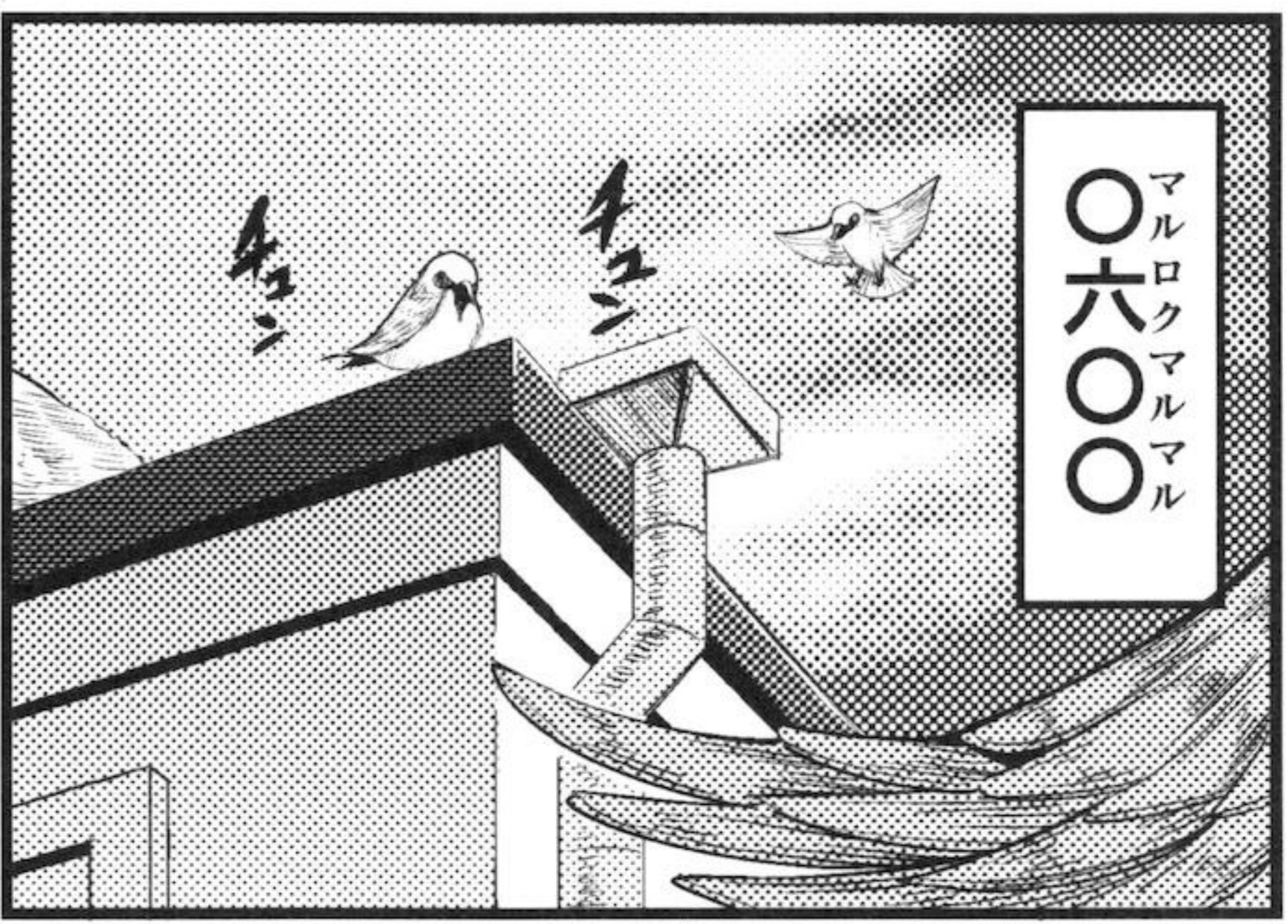
ってまだ寝てる…

提督ーっ

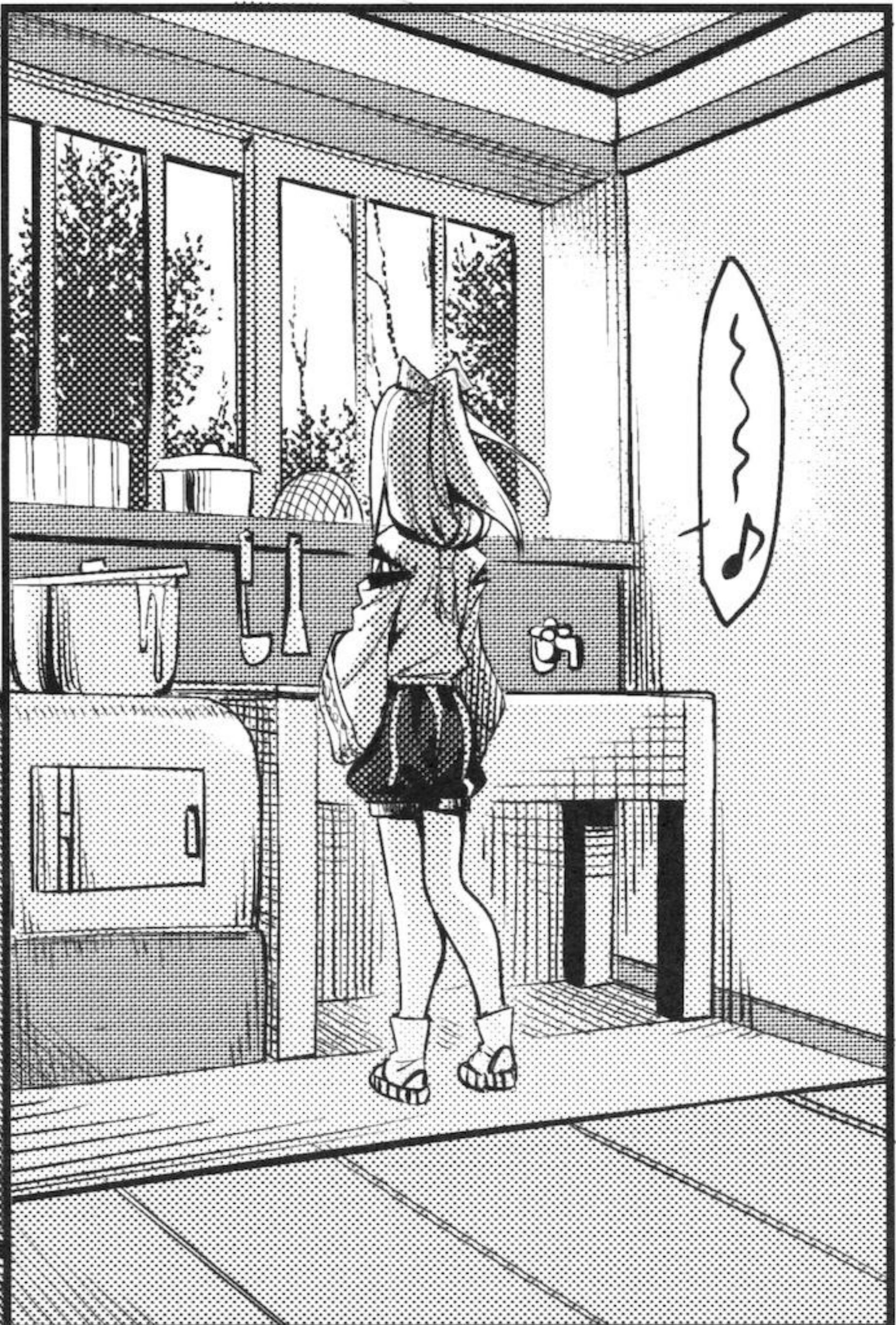
そろそろ
起きようよー



朝ごはん
できてるよー



マルロクマルマル
〇六〇〇



よしっ



もー…
自分が朝ごはん
作ってくれって
言ったクセに…



提督ー

早く起きて
くれないと…



おん



なーんて…

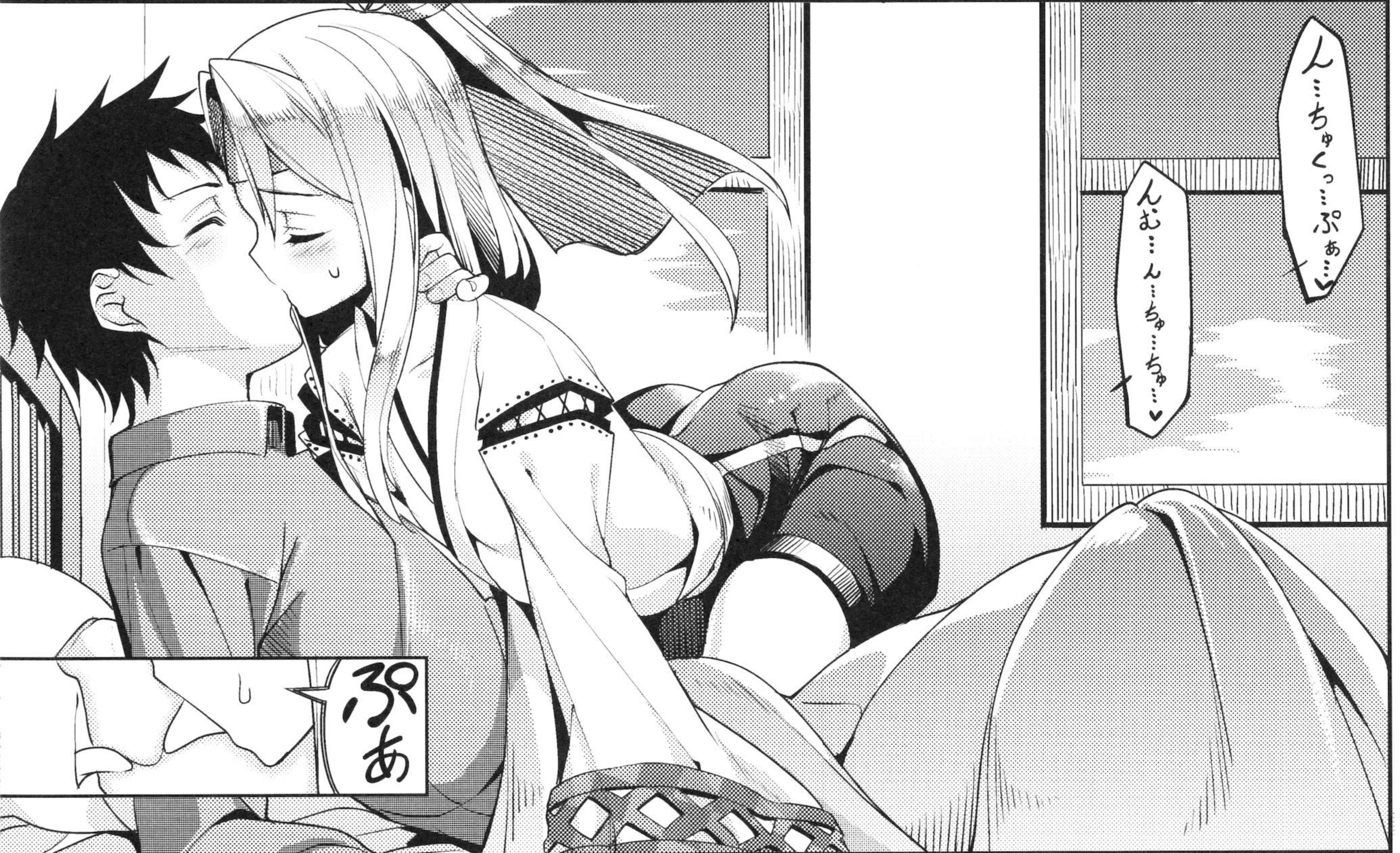
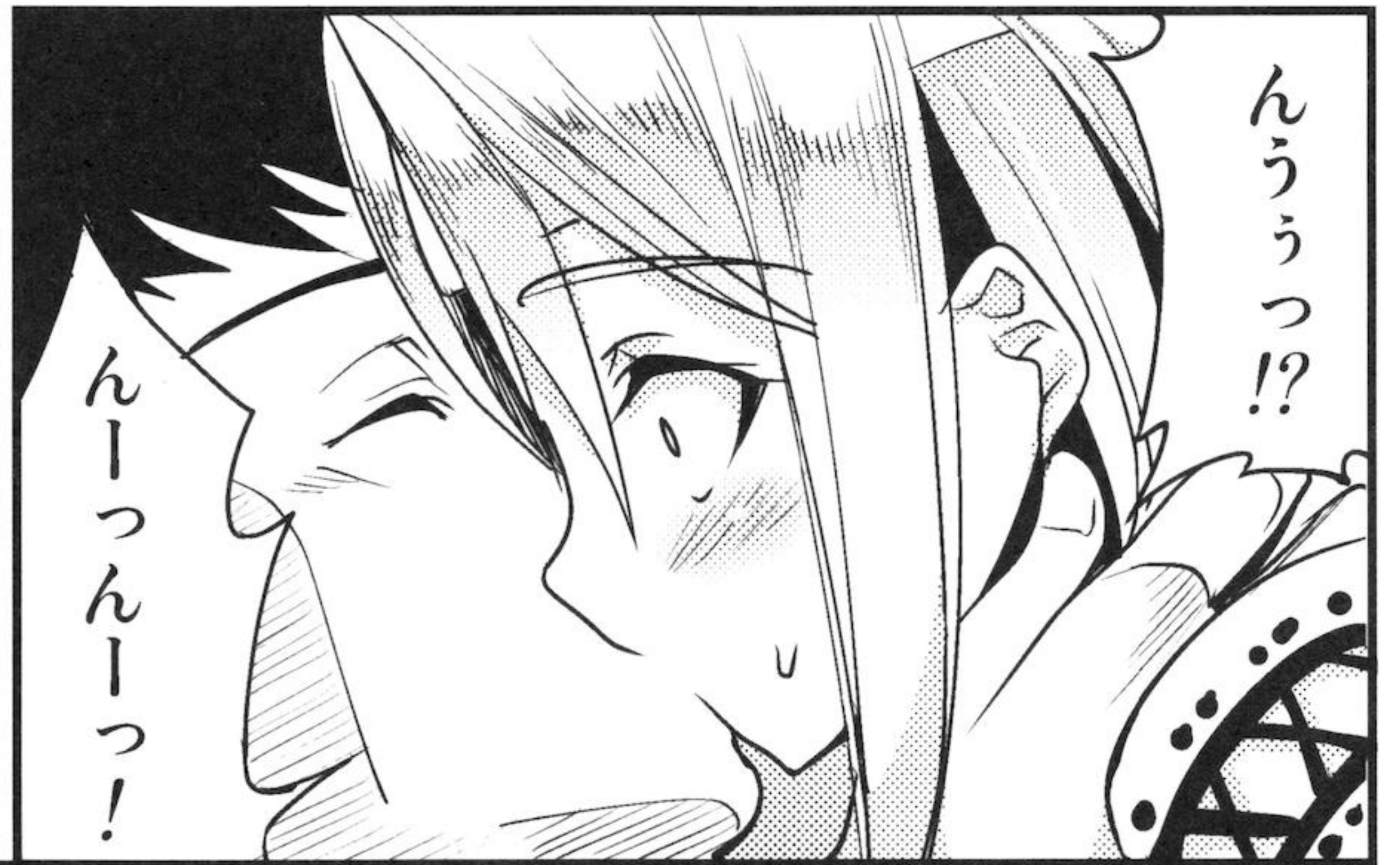
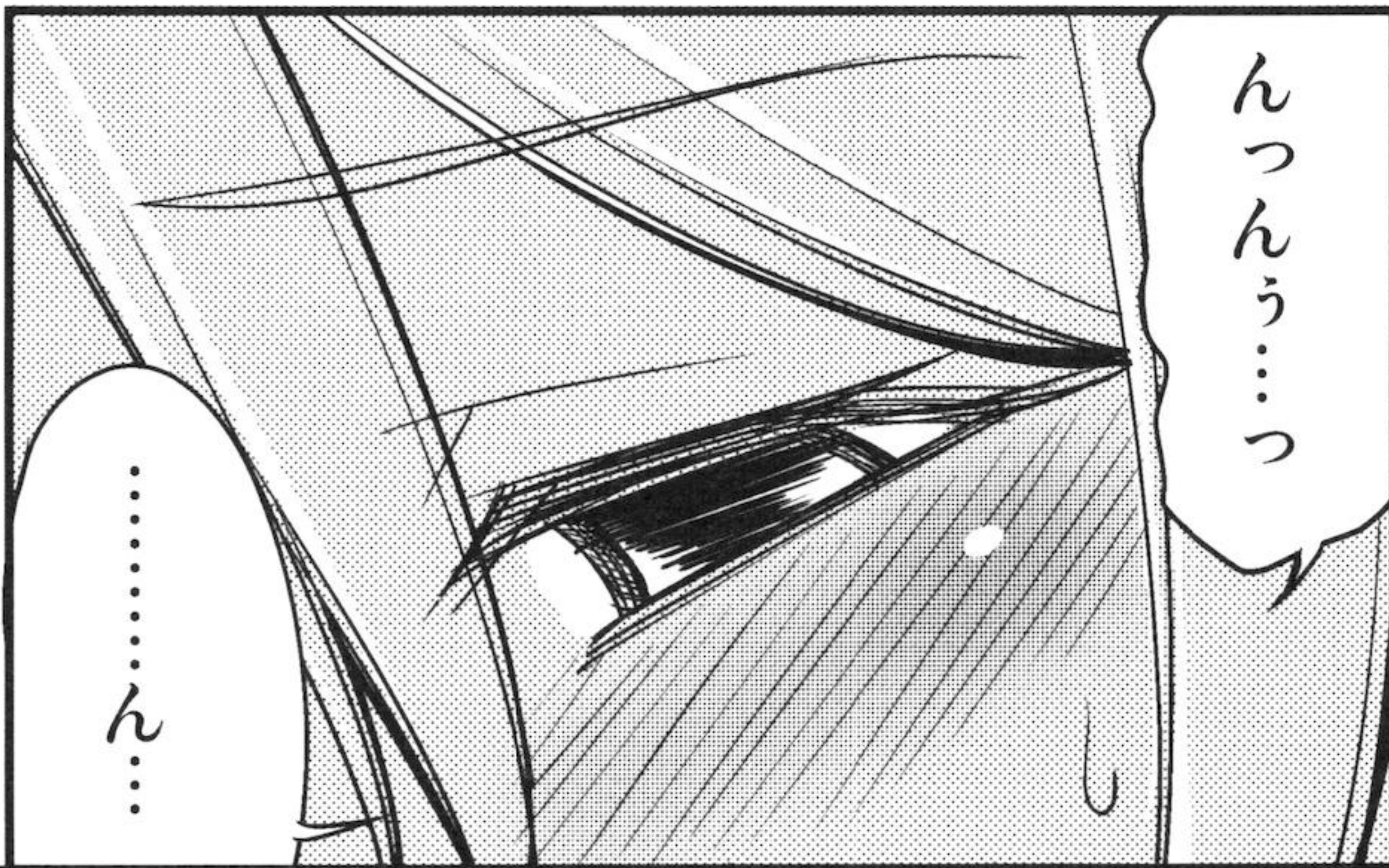


えっ!?



ちゅー…

しちやうよー?



瑞鳳のせいで
朝からこんな
なっってしまった

これじゃ仕事に
集中できないな！

ムキッ

秘書艦として
なんとかかしてくれ

なんで私の
せいなのよ

朝ご飯……

ムニッ

ちやっ!?
ちやっ!?

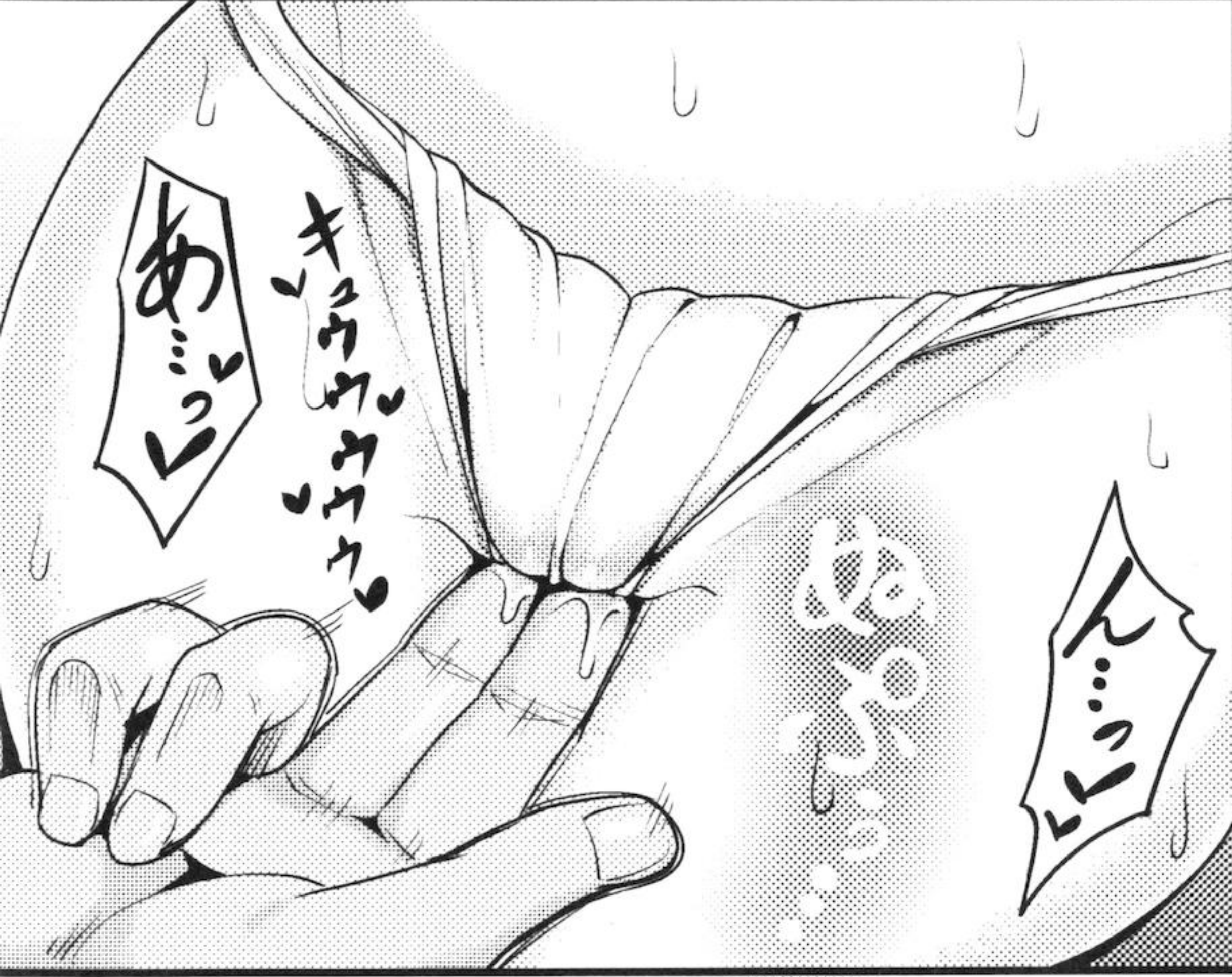
そおー!!

冷めちゃう……っ

あ

あ



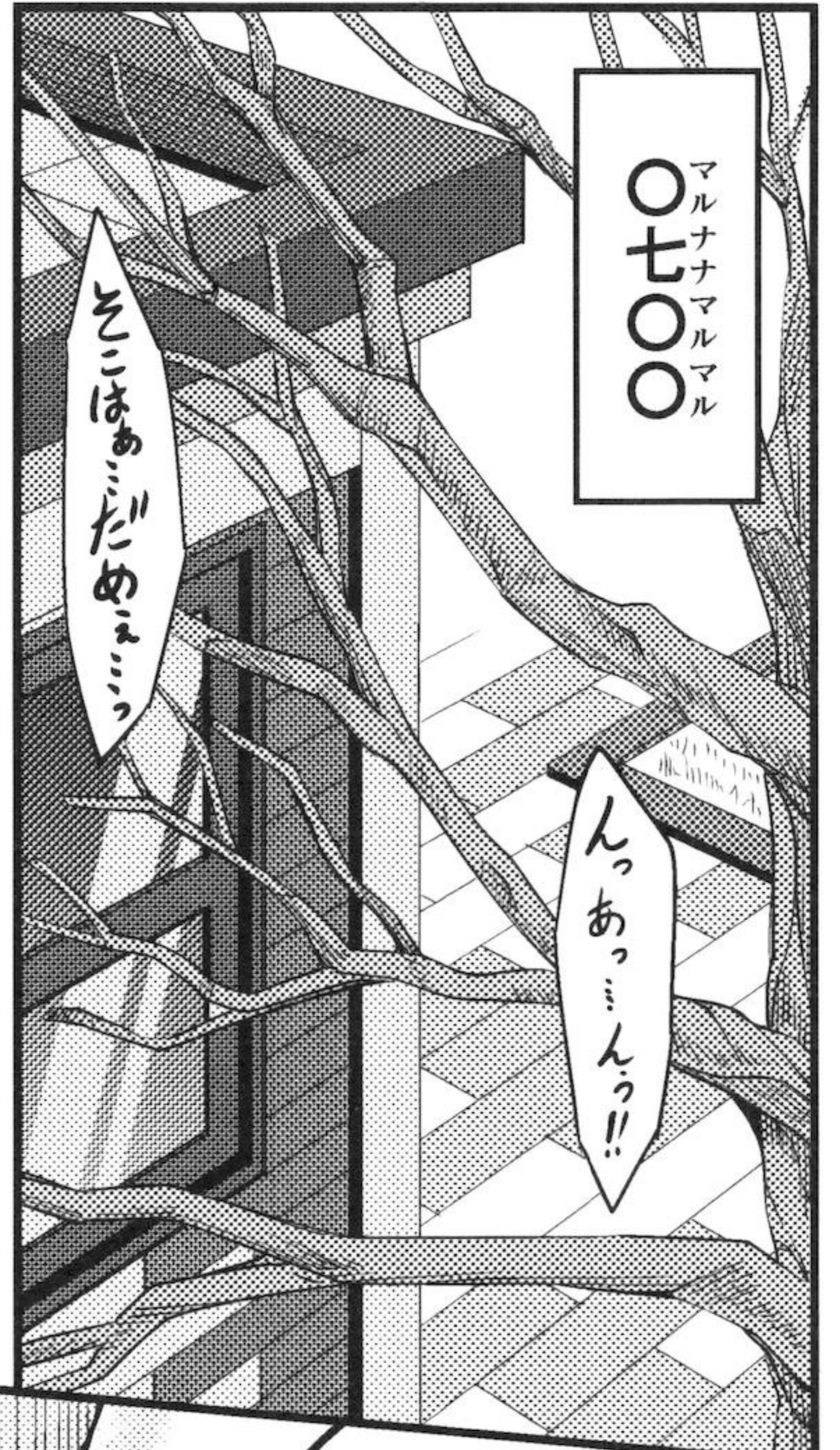






ああ、イッショ...

子宮口ばかり
ぐりぐりしちゃう...
めっちゃ!!



マルナマルマル
0700

んっほっだめ...

んっあっ...んっ!!



提督う...っ!!
もう二十分以上...
経ってるよ...おっ!!

朝はただでさえ
時間ないのに...!!

ぬぽっぬぽっ

悪い悪い

瑞鳳の感じてる姿が
可愛くてつい...な

すぐ
終わらせるから...

ちよーつと我慢
してくれな？

えん？えん？
えん？えん？

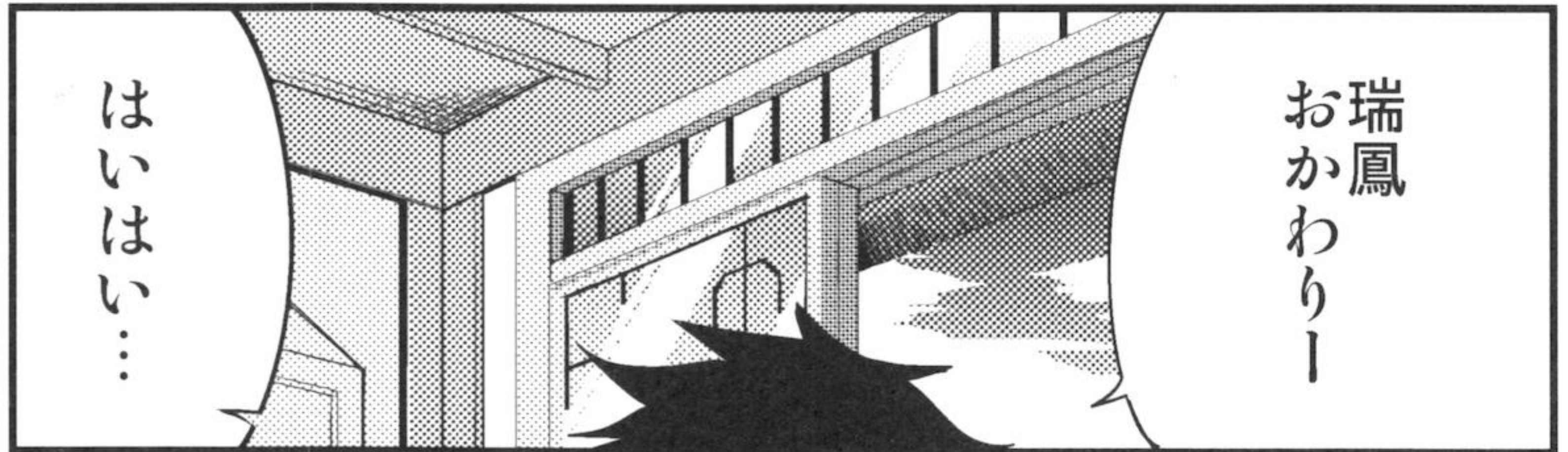
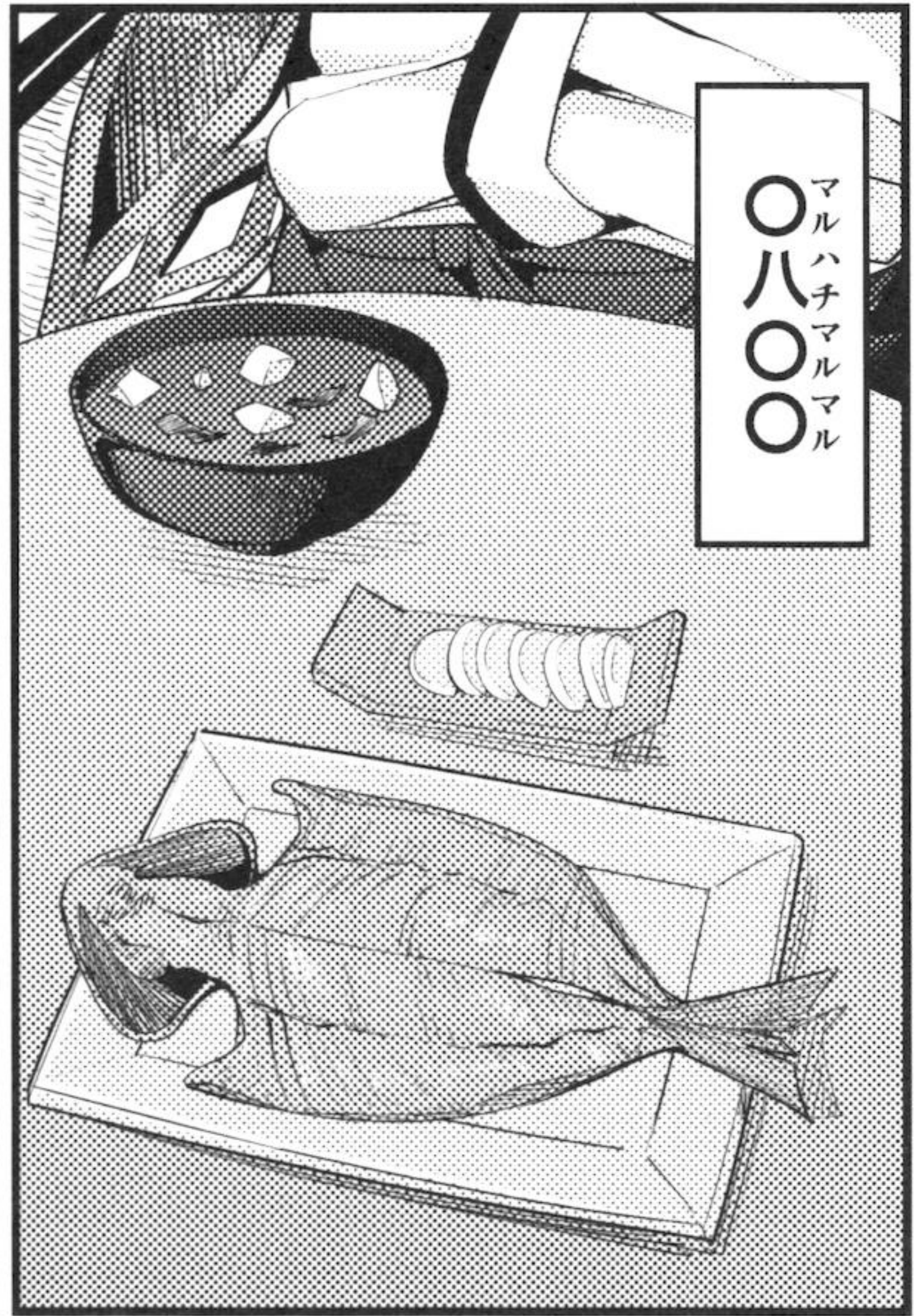


ふあゝゝあゝゝあゝゝ

ちよめえ...!!
おまんこいれえん...







ではこれより
艦載機の飛行訓練を
行います

なお我が鎮守府は
現在資源不足の
只中にあります

わいわい

各自事故等で
艦載機を破損して
無駄にボーキサイトを
消耗しないよう
くれぐれも
注意して下さい

は~~~~い...

とと...

んっ!!?



どこか具合でも
悪いの？

あ...いや...その...



瑞鳳さんっ!?



調子悪い

←ミスを連発

←ホーキがマッパ



.....
...拾い食いでも
したのかしら...?
心配ね...

そんな
赤城さんじゃ
ないんだから...



衛生兵!!
すぐに
ドックへ!!

だっ大丈夫ですッ!!

一人で
行けますのでッ!!

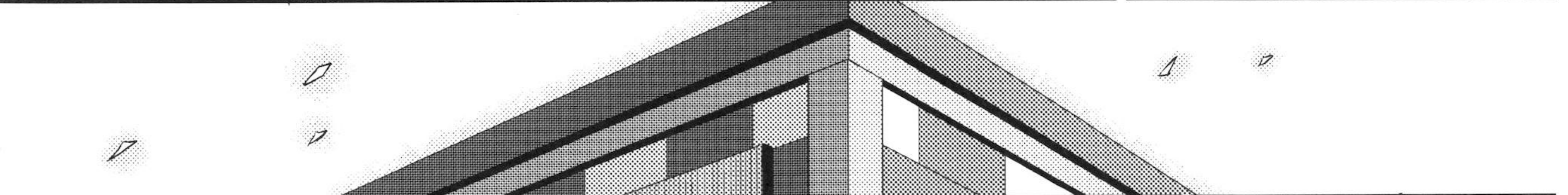


脚開いたら
今朝の提督のが
垂れてきたなんて

言える訳
ないじゃない!!!



タツ
タツ
タツ



あーっと…
何かあったのか…?

今朝はどこかの
変態提督のせいで
恥ずかしい
思いましたとかは

全っ然なかった
ですけどー!?

そ、そうか…
迷惑かけるな…



ヒト
タマル
マル
一一二〇〇

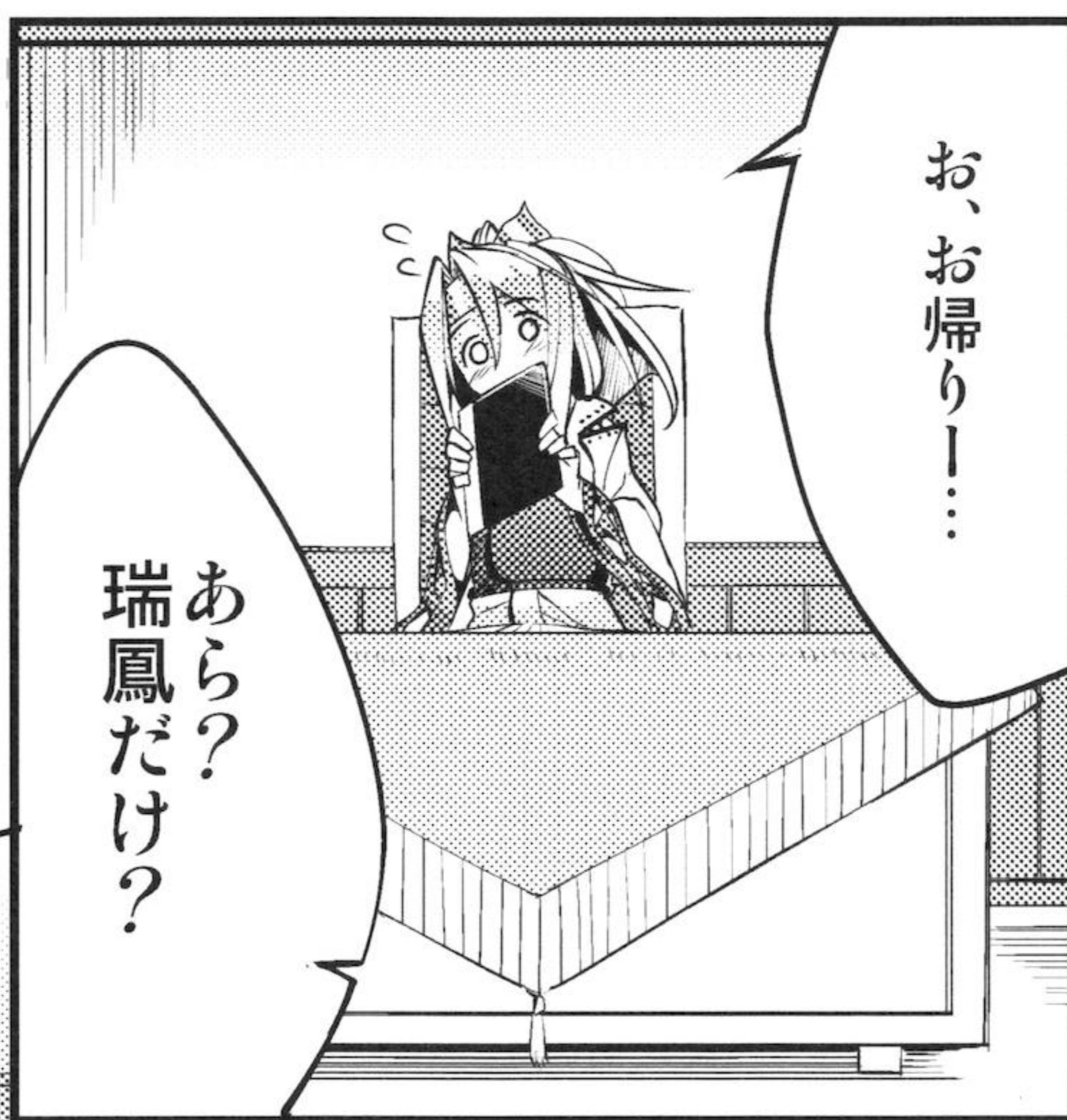
はいお弁当ツ!!!





司令官!!
遠征部隊が無事
帰還したわ!!

司令官さんに
お土産なのです!!



お、お帰りー!...

あら?
瑞鳳だけ?

え、えつと:
こつ工廠に新実験の
開発を訓練しに
行ったよ?

そっかー!
器用なのね
司令官...



司令官は?



よりによってこんな時に
帰ってくるなんて!!

折角バケツ
持ち帰ったから
一番に司令官に
見せたかったのに



てゆーかなんで
続けてるのよ!!

ちゅるん

ちゅ
ちゅ

あ：開いちや：っ
だめえ：っ！！

瑞鳳は一人で
書類整理？

このままじゃ…
あと少しで…っ

イク…っ

ちよつと瑞鳳
大丈夫？

ふよっ
イル…

なつ
何がッ!?

何がじゃないわよ

心なしか
顔が赤いような…

風邪でしたら
すぐ診て貰ったほうが
いいのです



ぜっ全然大丈夫ツ!!
ホラ!!私!!元気!!

フミッ
ククッ...

ホントかなあ...

ホラ二人とも
瑞鳳の邪魔しないの

それより
遠征の打ち上げに
間宮で甘味を
頂きましょう

イステラレ

アイスレ

アイスレ

甘味

もち提督のツケで♥

私いちご大福に
しよっかなー
電は?

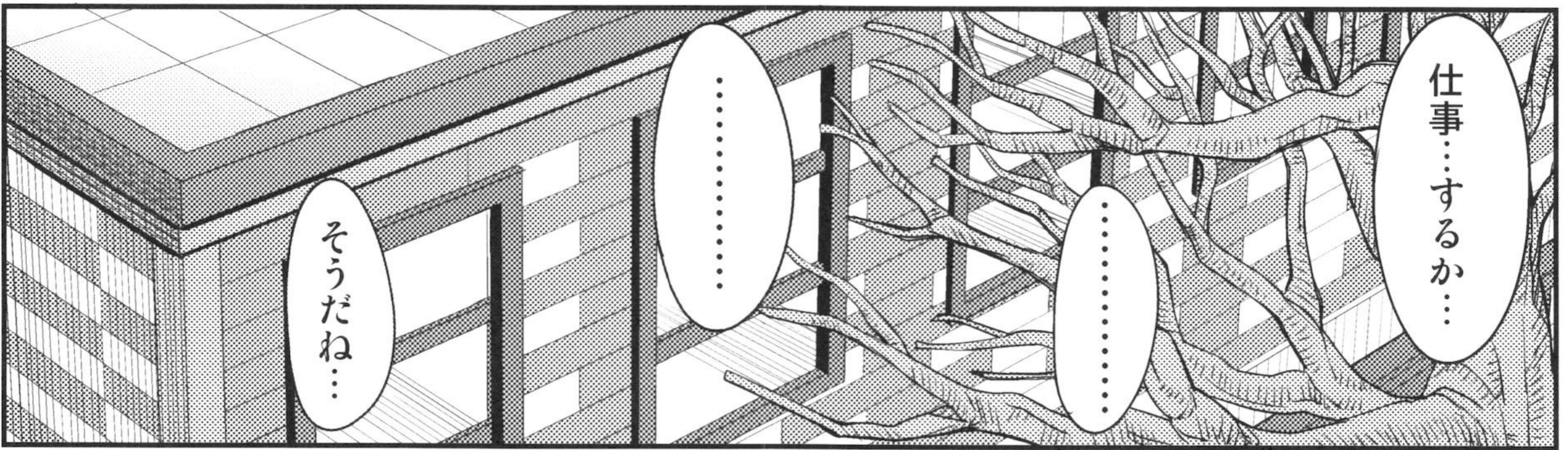
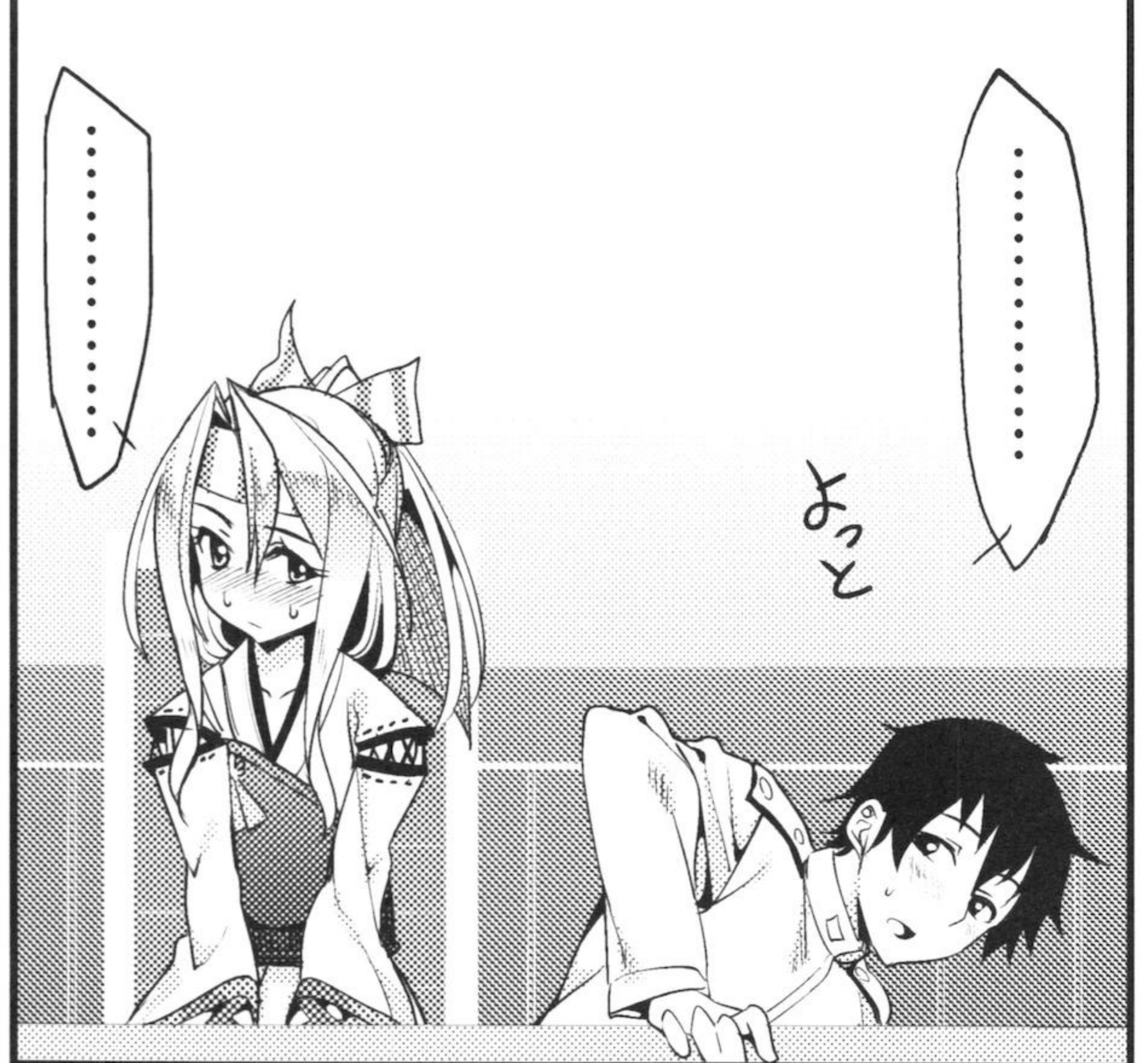
きんつばなのですっ

おっ渋いわねー

それじゃ私たちは
間宮に行くけど...

あ・な・た・た・ち・も
ほ・ど・ほ・ど・に・し・て
『お・仕・事』し・な・さ・い・ね

今夜の酒の肴に
なりたく
なかつたらね

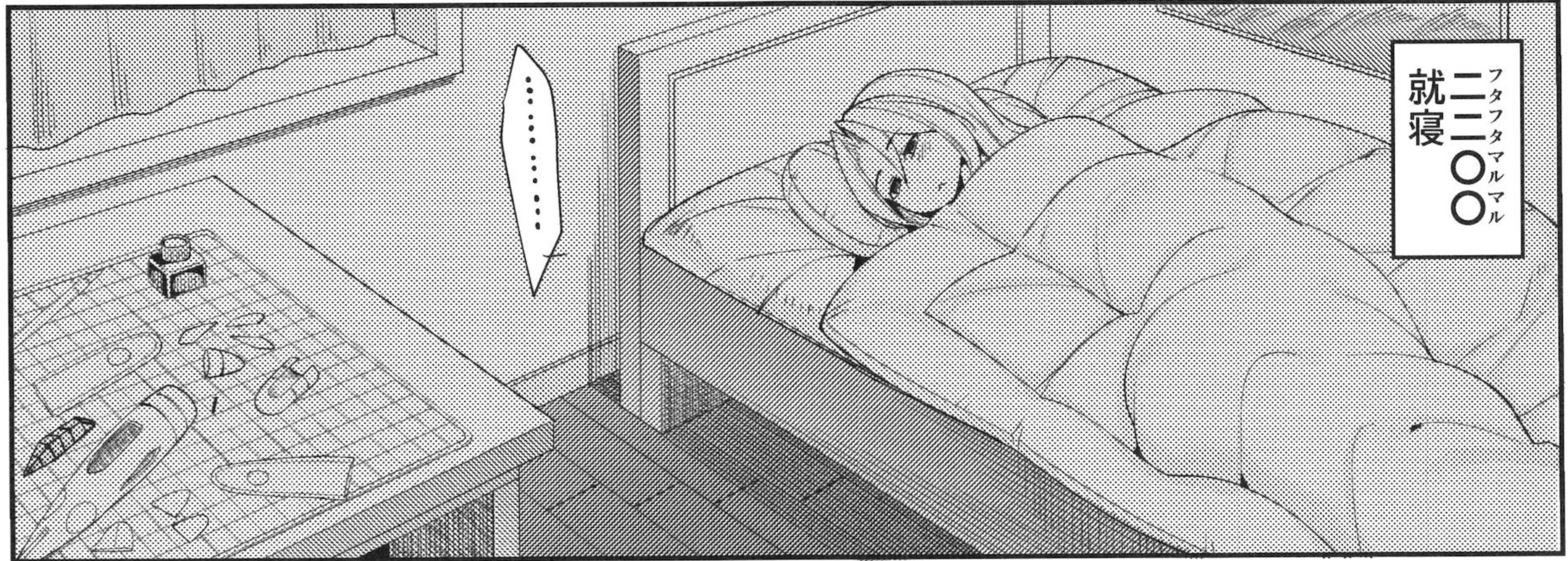




フタヒトマルマル
二一〇〇
入浴

千歳姉え…どうしよ…
なんかまた大きく
なっちゃったみたい…

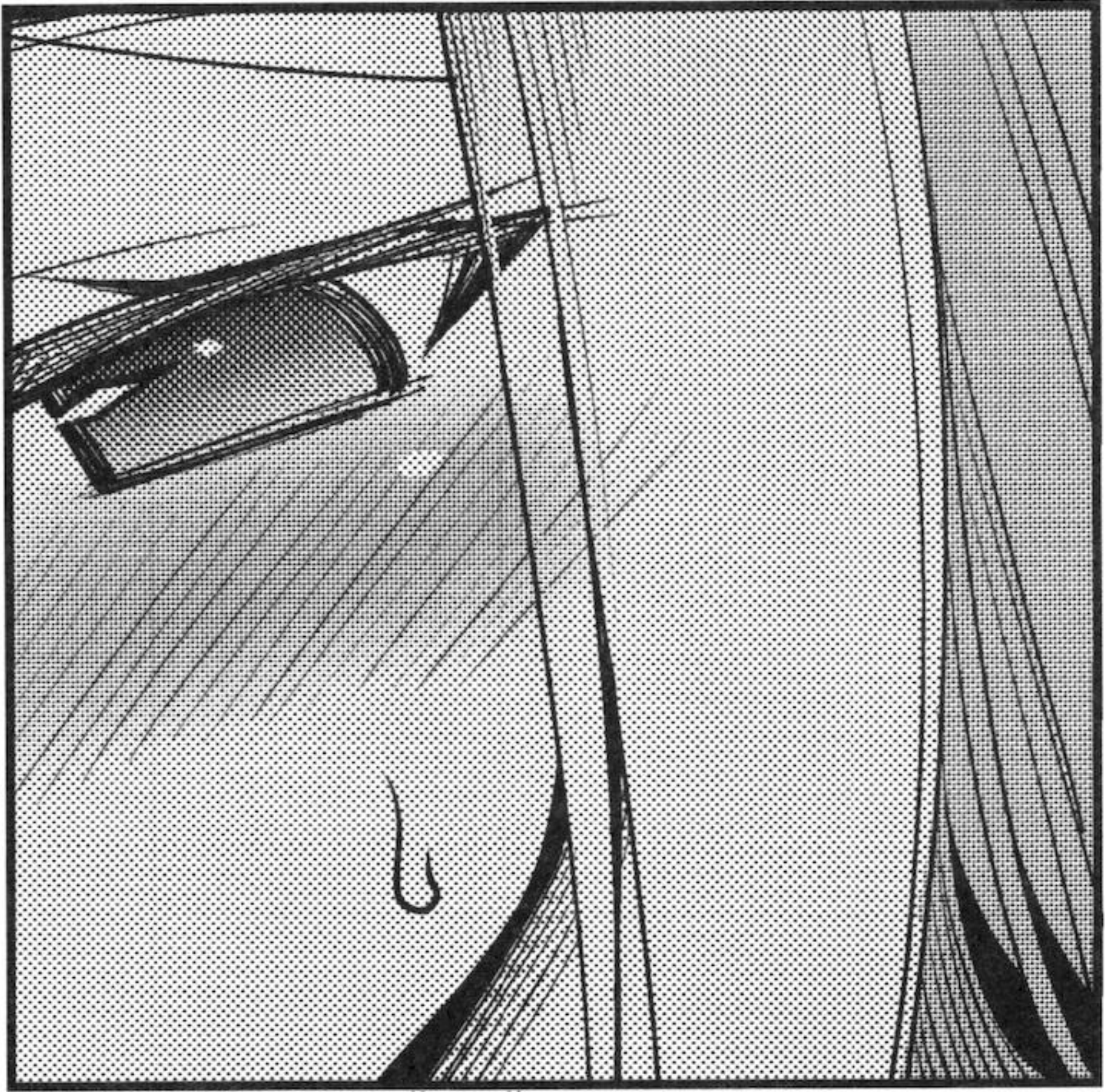
ふふっ千代田も
空母になったんだから
そのくらい
大きさは普通よ♪

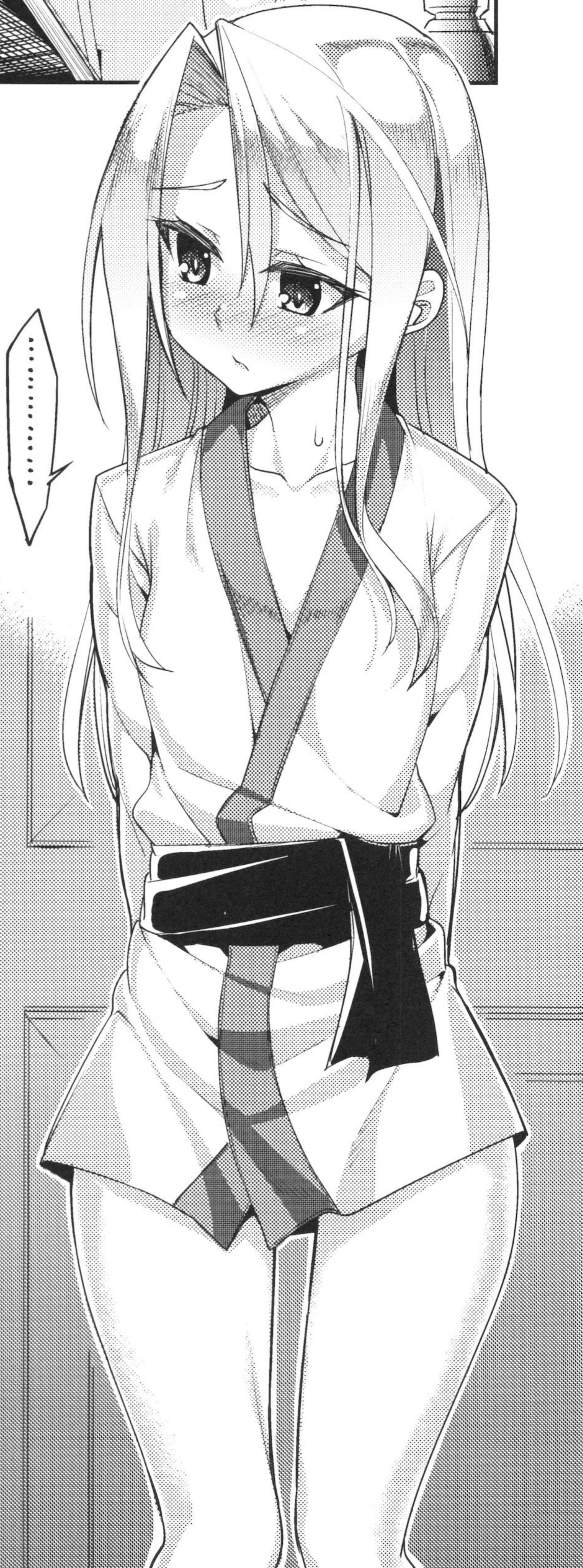


フタフタマルマル
二二〇〇
就寝



……
まう





瑞鳳のおまんこ……
ちよつと
いじつただけで

にゅる

にゅる

指三本も飲み込むほど
蕩けていく……

にゅる

にゅる

にゅる

にゅる

瑞鳳はなんて
いやらしい娘なんだ!!

それって提督の
せいでしょお!!!



私のことを何度も
開発調教するから…



提督がこの
かちかちの
おちんちんで

はくはく
はくはく

ぐしゃぐしゃ
ぐしゃぐしゃ

ぐしゃぐしゃ
ぐしゃぐしゃ



はくはく
はくはく
ぐしゃぐしゃ
ぐしゃぐしゃ

ん
ん

私まで変態に
なっちゃった
じゃない…



はくはく
はくはく
ぐしゃぐしゃ
ぐしゃぐしゃ

ん
ん
ん
ん

ちゅっ
ちゅっ

んっっ!!!

んっっ!!!

んっっ!!!

んっっ!!!

んっっ!!!

ぬばあ
おおおお

ぽわ
あん

あ
いは
あ

提督の精液…濃くて
すつごくHな臭い…

既に提督のおちんぽに
慣らされてる私は

パブロフの犬みたいに
この臭いだけで
この期待感だけで
おまんこが軽く
イってしまおう

トロ〜



ふふふ
すっかり
スイッチ入った
みたいだな

提督う...っ
はやくう...っ

はっ

はっ

はっ



ふあああっ♡

提督の...っ...!!
おっき...っ♡



おにょん

ひあああ

ブルブルブル
あ……あ……

あっ……あっ……
にゅにゅにゅにゅ



今のだけで
また……っ……
イっちゃった……



小さいからあ……っ
恥ずかしいよお……!!

むっ胸はあ……っ
だめえ……っ……!

あ……
にゅにゅにゅにゅ

ぬほっ
ぬほっ

こっちも……♡
ふあっ!!
にゅにゅ

きゅーん

俺は瑞鳳の
胸好きだぞ？

感度がいいから
こうするともっと
感じてくれるからな

あゝあゝ
あゝあゝ

ふゝあゝ
あゝあゝ

きゅーん
きゅーん

それに瑞鳳が感じる度に
アソコがキュウキュウ
吸い付いてくるのが
最高に気持ちいい

らゅ

あゝ
ほゝ

あ……っ……やば……っ
……もう……っ

射^で精^る……っ♡

きゅーん
きゅーん

あゝ
あゝ

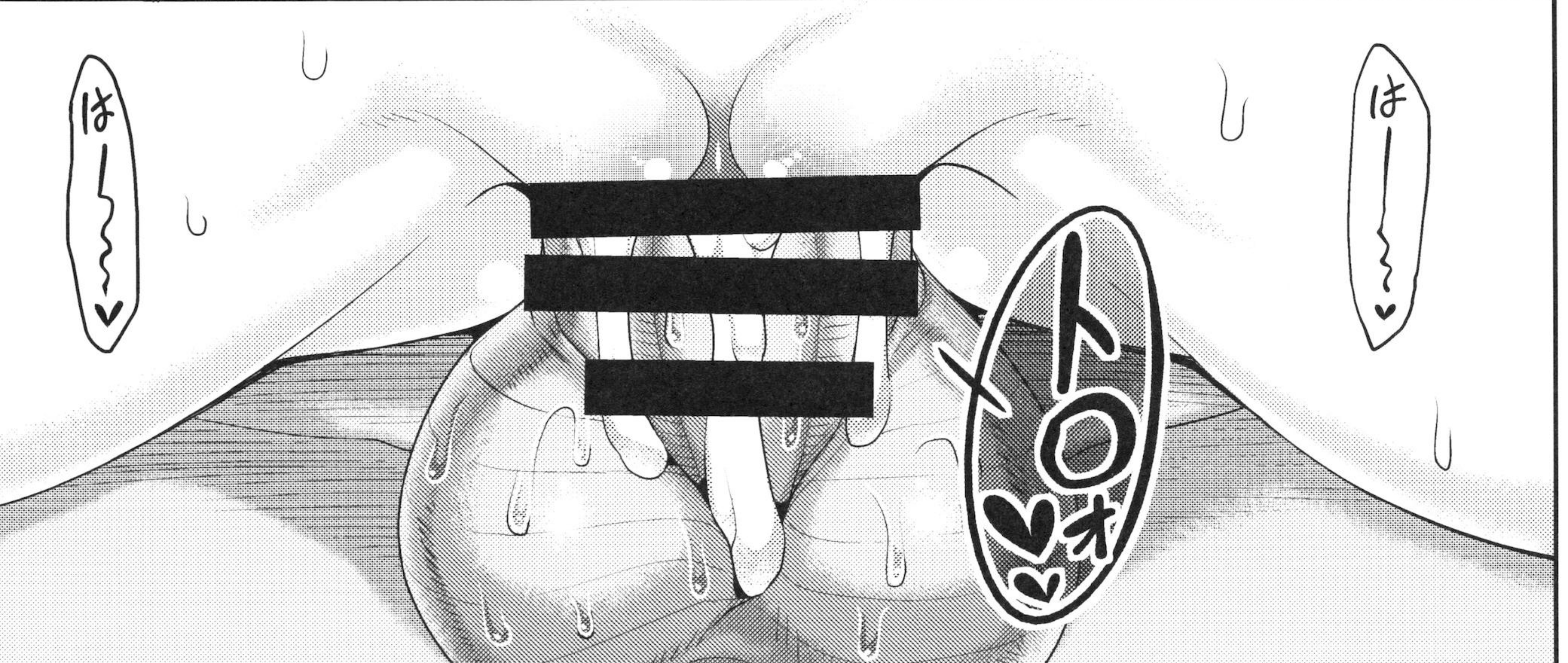




私：子宮に…
授け入れながら…あ
…イってる…う…

はっ…あ…

まきまき



はっ

は

はっ



もうっっっ一回っっっ

えっ…えっ?



はあ

はあ

お腹の中…
暖かくて
きもちいい…

瑞鳳…

OK



アハハハ!!!
アハハハ!!!

アハハハ

アハハハ

あ

あ

もあ…もあ…
キミ…キミ…



…っ…すぐ出すから…っ
もう少しだけ我慢してくれ



あゝ射精する



あーやっぱ瑞鳳の
イってる時の
おまんこが一番
気持ちいいなあ…

ほおし

このへんたいー
ーカウ…

マルロクマルマル
〇六〇〇

ふあっ

結局昨日はほとんど
朝までしてしまった…

体がだるい…

おっとダメダメ
今日も気合入れて
いかない!!

提督ー?
起きてるー?

というわけで
手伝ってくれ

ア!

今日の昼までだから

ええ!!

おお!! 瑞鳳起きてきたか!!
はいこれノルマ!!

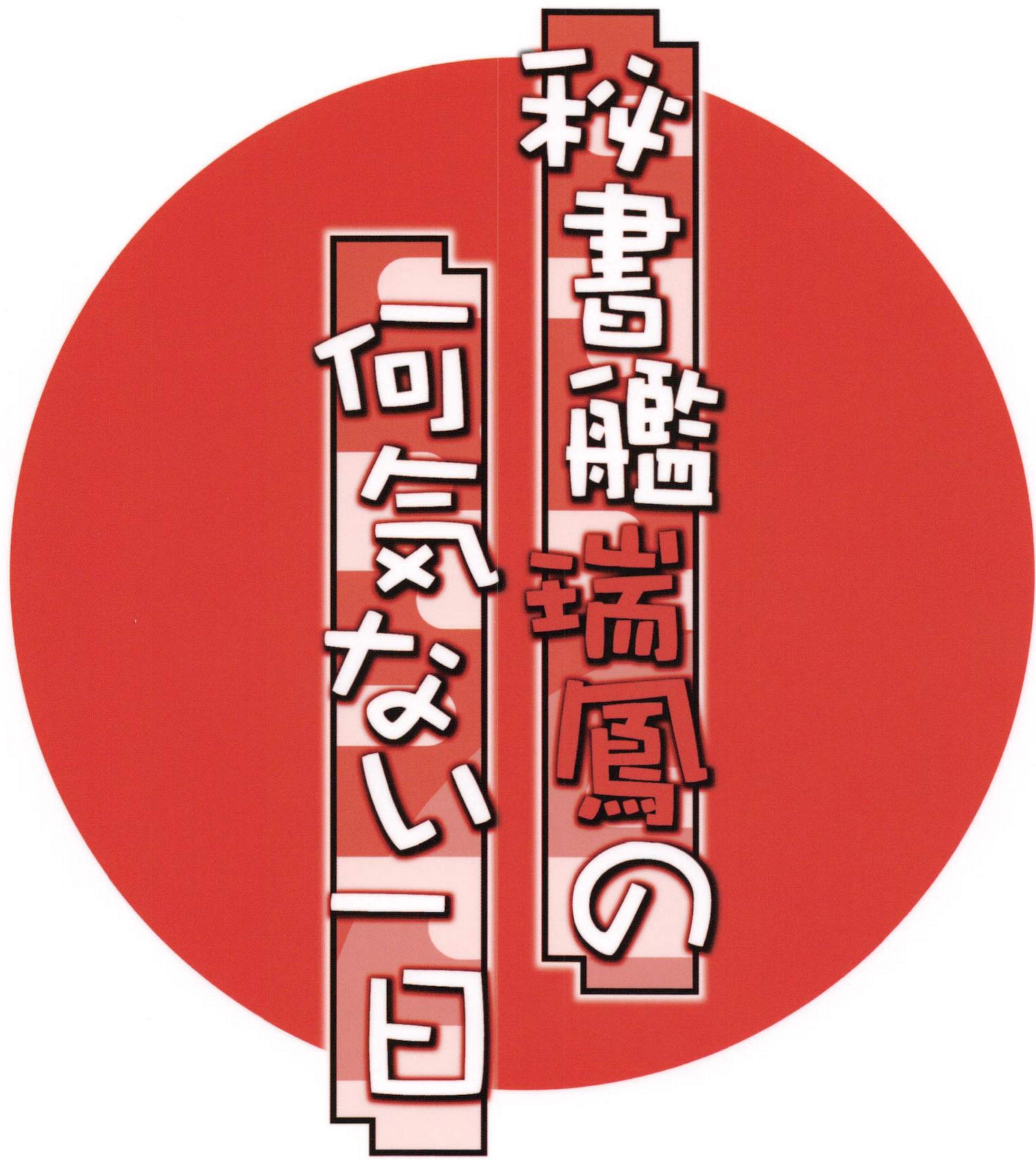
ふえ?

な…なんなの
この書類の山…

イヤな予感…

昨日俺が
徹夜でやっつけようと
してた仕事だ

昨日は珍しく瑞鳳から
誘ってくれたから
嬉しくてそのまま
忘れてたんだよ…



秘書艦 瑞鳳の

何処まで